

親字	音訓	甲骨文・金文・古文・篆書 (殷・西周・春秋・戦国・秦)	説文解字 篆書	隸書 (前漢・後漢)	草書	行書	楷書 (南北朝から初唐)	正字体 楷書	日本上代 から 平安初期
太	タイ ふとる はなはだ								王勃詩序
泰	タイ やすい やすらか おごる								光明皇后
天	テン あま あめ そら								王勃詩序
夫	フ フウ おとこ それ								王勃詩序
央	オウ なかば								聖武天皇集
失	シツ うしなう うせる								王勃詩序

平安中期 から 室町	江戸版本	康熙字典 1716年 部首・画数	弘道軒 四号	夏目漱石 坊っちゃん ころこ	通字体活字 明治41~ 大正3年	漢字 整理案 大正8年	文部省 活字 昭和10年	当用 漢字表 昭和21年	太宰治 人間失格 昭和23年	当用漢字 字体表 昭和24年	教育漢字 平成4年	参考
												太 中・台・香
												泰 干禄(俗) 中国・台湾
												泰 香港
												天 唐・香港 中国・台湾
												夫 中山王方壺 中・台・香
												央 中国・香港
												央 台湾
												失 平安・神戸本朗詠 中・台・香

【太】「太」は「泰」の古文だという。

【天】泰山刻石と説文解字の字体が異なる。

【夫】説文解字の「夫」の「大」の部分が「大」の篆書の字体と合致しない。

【央】説文解字の字体が「大」の字体と異なる。

【失】説文解字の大徐本と段注本の字体が異なる。手部の字だとすれば段注本の字体のほうがしっくりくる。包山楚簡に異体字がある。草書は鄭固碑や楊淮表記の字体をくずしたものか。当用漢字表に使われた活字は左払いが欠損している。

親字	音訓	甲骨文・金文・古文・篆書 (殷・西周・春秋・戦国・秦)	説文解字 篆家	隸書 (前漢・後漢)	草書	行書	楷書 (南北朝から初唐)	正字体 楷書	日本上代 から 平安初期
夷	イ あびす あみし たいらげる 人①								王勃詩序
									王勃詩序
									王勃詩序
奄	エン おおう たちまち ふさがる 人①								聖武天皇雜集
									聖武天皇雜集
									聖武天皇雜集
奇	キ あやし いくし めづらしい 常①								王勃詩序
									王勃詩序
									王勃詩序
奇	②								杜家立成
									杜家立成
奈	ナイ・ダイ なんぞ いかに いかにぞ 教4 常①								瑠玉集
									瑠玉集
									瑠玉集
奈	④ ダイ いかに いかにぞ いかにせば								越州録
									越州録
									越州録
奉	ホウ フ たてまつる 常①								王勃詩序
									王勃詩序
									王勃詩序
奔	ホン はしる 常①								王勃詩序
									王勃詩序
									王勃詩序

平安中期 から 室町	江戸版本	康熙字典 1716年 部首・画数	弘道軒 四号	夏目漱石 坊っちゃん こころ	通字体活字 明治41~ 大正3年	漢字 整理案 大正8年	文部省 活字 昭和10年	当用 漢字表 昭和21年	太宰治 人間失格 昭和23年	当用漢字 字体表 昭和24年	教育漢字 平成4年	参考
												夷 中国・台湾
												夷 香港
												奄 中国・香港
												奄 台湾
												奇 中・台・香
												奈 台湾
												奈 中国・香港
												奈 台湾
												奈 中国・香港
												奉 上代・風信帖 中国・台湾
												奉 香港
												奔 中・台・香

【奈】2010年(平成22年)に常用漢字表に追加された。「奈」は説文不録だが、康熙字典に「同奈」とあるので「奈」を載せた。篆刻では「奈」の代わりに「奈」を使う。ただし印鑑登録の際に「奈」の意味で「奈」を使うと自治体によっては不可になるかもしれない。

親字	音訓	甲骨文・金文・古文・篆書 (殷・西周・春秋・戦国・秦)	説文解字 篆家	隸書 (前漢・後漢)	草書	行書	楷書 (南北朝から初唐)	正字体 楷書	日本上代 から 平安初期				
奪	ダツ うばう								奪				
		金文	睡虎地秦簡	説文・産部	銀雀山竹簡	馬王堆	興福寺断碑	元緒墓誌	皇甫凝碑	干祿字書	杜家立成		
					馬王堆	北海相景君碑		皇甫凝碑	五経・佳部	豊巒指歸			
奮	フン ふるう												
		令鼎	郭店楚簡	説文・産部	銀雀山竹簡	桐叔墓残碑		元康墓誌	等慈寺碑	干祿字書	王勃詩序		
					郭店楚簡	馬王堆		弔比干墓文	倪寛伝贊	五経・佳部			
女	ジョ ニョウ おんな め												
		甲骨	大孟鼎	睡虎地秦簡	泰山刻石	馬王堆	三老諺字忌日記	十七帖	王献之	敬史君碑	孟法師碑	九経・部首	豊巒指歸
					馬王堆	曹全碑		王献之	高貞碑				豊巒指歸
					侯馬盟書	中山王鼎		武威漢簡		鄭兵散遺傳記			
奴	ドス やつ やつて												
		金文	金文	睡虎地秦簡	説文・女部	馬王堆	桐柏屏碑	澄清堂帖		敬史君碑	倪寛伝贊		杜家立成
					包山楚簡	包山楚簡	説文・女部	武威漢簡					画図讀文
					金文	包山楚簡	説文・女部	武威漢簡					澄清堂帖
					金文	包山楚簡	説文・女部	武威漢簡					画図讀文
					包山楚簡	包山楚簡	説文・女部	武威漢簡					画図讀文
					金文	包山楚簡	説文・女部	武威漢簡					画図讀文
					包山楚簡	包山楚簡	説文・女部	武威漢簡					画図讀文
					金文	包山楚簡	説文・女部	武威漢簡					画図讀文
					包山楚簡	包山楚簡	説文・女部	武威漢簡					画図讀文
					金文	包山楚簡	説文・女部	武威漢簡					画図讀文
					包山楚簡	包山楚簡	説文・女部	武威漢簡					画図讀文
					金文	包山楚簡	説文・女部	武威漢簡					画図讀文
					包山楚簡	包山楚簡	説文・女部	武威漢簡					画図讀文
					金文	包山楚簡	説文・女部	武威漢簡					画図讀文
					包山楚簡	包山楚簡	説文・女部	武威漢簡					画図讀文
					金文	包山楚簡	説文・女部	武威漢簡					画図讀文
					包山楚簡	包山楚簡	説文・女部	武威漢簡					画図讀文
					金文	包山楚簡	説文・女部	武威漢簡					画図讀文
					包山楚簡	包山楚簡	説文・女部	武威漢簡					画図讀文
					金文	包山楚簡	説文・女部	武威漢簡					画図讀文
					包山楚簡	包山楚簡	説文・女部	武威漢簡					画図讀文
					金文	包山楚簡	説文・女部	武威漢簡					画図讀文
					包山楚簡	包山楚簡	説文・女部	武威漢簡					画図讀文
					金文	包山楚簡	説文・女部	武威漢簡					画図讀文
					包山楚簡	包山楚簡	説文・女部	武威漢簡					画図讀文
					金文	包山楚簡	説文・女部	武威漢簡					画図讀文
					包山楚簡	包山楚簡	説文・女部	武威漢簡					画図讀文
					金文	包山楚簡	説文・女部	武威漢簡					画図讀文
					包山楚簡	包山楚簡	説文・女部	武威漢簡					画図讀文
					金文	包山楚簡	説文・女部	武威漢簡					画図讀文
					包山楚簡	包山楚簡	説文・女部	武威漢簡					画図讀文
					金文	包山楚簡	説文・女部	武威漢簡					画図讀文
					包山楚簡	包山楚簡	説文・女部	武威漢簡					画図讀文
					金文	包山楚簡	説文・女部	武威漢簡					画図讀文
					包山楚簡	包山楚簡	説文・女部	武威漢簡					画図讀文
					金文	包山楚簡	説文・女部	武威漢簡					画図讀文
					包山楚簡	包山楚簡	説文・女部	武威漢簡					画図讀文
					金文	包山楚簡	説文・女部	武威漢簡					画図讀文
					包山楚簡	包山楚簡	説文・女部	武威漢簡					画図讀文

親字	音訓	甲骨文・金文・古文・篆書 (殷・西周・春秋・戦国・秦)	説文解字 篆家	隸書 (前漢・後漢)	草書	行書	楷書 (南北朝から初唐)	正字体 楷書	日本上代 から 平安初期
妃	ヒ きさき 常①		説文・女部						
妾	モウ ボウ みだりに 常①		説文・女部						
姘	ギ わざおぎ あそびめ こ ①		説文・女部						
妥	ダ タ やすらか おだやか 常①		段注・女部						
妊	ニン ジン はらむ みごもる 常①		説文・女部						
姪	②								
妨	ボウ ホウ さまたげる 常①		説文・女部						
妙	ミョウ ビョウ たえ わかい 常①		説文・女部						
妙	④								

【妃】 旁は説文解字では「己」、五経文字も「己」、康熙字典は「己」、文部省活字は「己」、当用漢字表は「己」、当用漢字字体表は「己」。手書きでは「己」、「巳」、「日」はあやふやになる。常用漢字表に「きさき」の読みはない。
【妾】 1981年(昭和56年)に当用漢字表外から常用漢字表に追加

された。
【妥】 説文解字の大徐本には不録で段注本には掲載。
【妊】 「姪」という異体字がありそれを顔真卿が「多宝塔碑」で書いている。「明治の漢字」では「姪」の〈許容〉の異体字に「妊」をあげている。その通りなら「妊娠」を「妊妊」と

平安中期 から 室町	江戸版本	康熙字典 1716年 部首・画数	弘道軒 四号	夏目漱石 坊っちゃん ころ	通字体活字 明治41~ 大正3年	漢字 整理案 大正8年	文部省 活字 昭和10年	当用 漢字表 昭和21年	太宰治 人間失格 昭和23年	当用漢字 字体表 昭和24年	教育漢字 平成4年	参考
関戸本朗詠	節用	女3		坊っちゃん						○		中国
												妃
粘葉本朗詠												台湾
												妃
久松切												香港
												妾
元暦萬葉①	再版農業全書	女3		ころ								中国
												妾
墨流本朗詠	節用											台湾
												姘
雲紙本朗詠	節用	女4		坊っちゃん								中国
												姘
雲紙本朗詠	姪事戒											台湾
												妥
伝藤原行成		女4		ころ						×		中国
												妥
												台湾
												妊
節用	女4			ころ								中国
												妊
												台湾
												妨
粘葉本朗詠	節用	女4		ころ								台湾
												妙
元暦萬葉②	心字心得碑	女4		坊っちゃん								中国
												妙
元暦萬葉③	東海道中膝栗毛											台湾
												香港

書いてもよいことになる。
【妙】 説文解字では「妙」の字体。弘道軒四号と三号で字体が異なる。